

平成28年度進行管理・評価シート
堺市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）

（最終変更 平成29年4月1日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 (項目名) 歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 (項目名) 都市計画・景観計画等との連携および屋外広告物法に基づく施策との連携 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 (項目名) 百舌鳥古墳群整備事業 3

2 (項目名) 重要文化財高林家住宅保存修理事業 4

3 (項目名) 歴史的建造物保存修理事業 5

4 (項目名) 市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み 6

5 (項目名) 堺市地域文化遺産活用活性化事業 7

6 (項目名) ボランティアガイドの育成・支援 8

7 (項目名) 堺市地場産業振興事業補助事業 9

8 (項目名) 堺市伝統産業後継者育成事業補助事業 10

9 (項目名) 堺市ものづくりマイスター制度 11

10 (項目名) 視点場の整備に関する調査検討 12

11 (項目名) 百舌鳥古墳群水質改善事業 13

12 (項目名) まちなみ再生事業 14

13 (項目名) ザビエル公園再整備事業 15

14 (項目名) 宿院町公園再整備事業 16

15 (項目名) 阪堺線停留場美装化事業 17

16 (項目名) 紀州街道沿道の景観づくり 18

17 (項目名) 百舌鳥古墳群に関する情報発信 19

18 (項目名) 百舌鳥古墳群周辺案内板の整備 20

19 (項目名) 百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備 21

20 (項目名) 環濠都市区域内における案内板の改善 22

21 (項目名) 史跡・重要文化財等公開事業 23

22 (項目名) 自転車通行環境の整備 24

23 (項目名) 学校教育の場での茶の湯体験 25

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 (項目名) 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定 26

2 (項目名) 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業 27

3 (項目名) 文化財の防災 28

4 (項目名) 埋蔵文化財の取扱い 29

5 (項目名) 文化財に関する普及・啓発の取組み、 30

民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 31

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)

1 (項目名) 古墳時代をはじめ各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用 32

2 (項目名) 「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興 33

3 (項目名) 古墳や歴史的まちなみを活かした魅力ある景観の創出 34

4 (項目名) 歴史の重層性に育まれた堺の都市魅力の発信と共有 35

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)

1 (項目名) まちなみ再生事業 36

2 (項目名) 文化観光拠点整備事業 37

3 (項目名) ザビエル公園整備事業、阪堺線停留場美装化事業、紀州街道沿道の景観 38

づくり(阪堺線沿道の植栽帯の改善)

4 (項目名) 百舌鳥古墳群整備事業 39

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)

..... 40

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
歴まち計画の円滑な推進に向けた組織体制に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 計画実現のための推進体制として、歴史まちづくり法第11条第1項に基づく「堺市歴史的風致維持向上計画協議会」を「堺市歴史的風致維持向上協議会」に改編し、事業の進捗管理や連絡調整、計画変更に関する協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年8月に幹事会を開催し、平成28年度の取組み状況を確認したほか、平成29年度の予算要求も踏まえた事業予定について情報共有・意見交換を行った。また、平成29年2月から3月にかけて幹事会、推進会議及び協議会を開催し、平成28年度の進捗・総括評価の確認や意見聴取等を行った。

- 平成28年8月16日 推進会議幹事会開催
- 平成29年2月16日 推進会議幹事会開催 平成29年2月28日推進会議開催 平成29年3月28日協議会開催

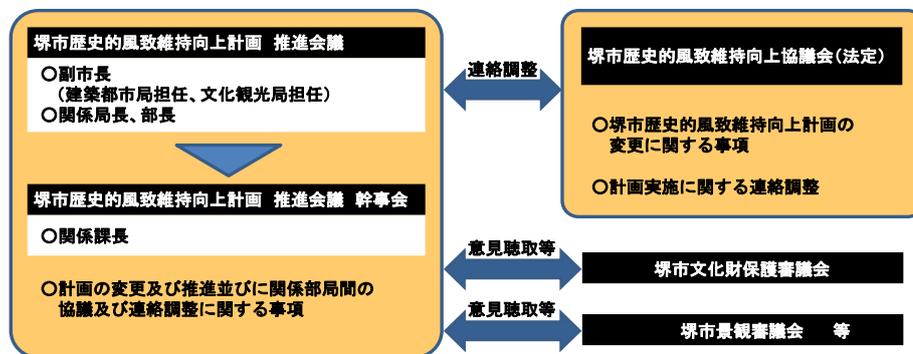
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■庁内の推進体制



■堺市歴史的風致維持向上計画推進会議及び協議会の開催

○平成29年2月16日
堺市歴史的風致維持向上計画推進会議幹事会 開催



○平成29年2月28日
堺市歴史的風致維持向上計画推進会議 開催



○平成29年3月28日
堺市歴史的風致維持向上協議会 開催



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成28年度
		現在の状況
都市計画・景観計画等との連携及び屋外広告物法に基づく施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

重点区域について、景観計画の取組みと連携し、歴史的風致の維持向上を図る。地域特性を踏まえた景観形成基準を策定し、都市計画法や景観法に基づく各種手法を活用するほか、景観重要建造物の指定や屋外広告物のあり方などを検討するなど、きめ細かい景観形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群及び周辺区域において、世界文化遺産登録も視野に古墳のあるまちとして相応しい景観づくりの一環として、高度地区による「建築物の高さ制限」、景観地区による「建築物の色彩などの形態意匠の制限」、屋外広告物条例による「屋外広告物の大きさや高さ等の制限」を実施した。また、平成28年4月に同区域における既存不適格広告物の適正化に向けた補助金制度を創設し、周知・啓発を重ねながら早期適正化に向けた取組みを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○屋外広告物の新たな制限に関する周知・啓発

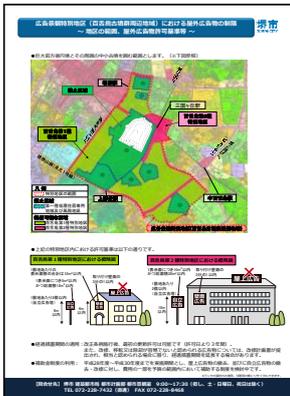
(平成29年3月末現在)

○屋外広告物適正化補助金制度の活用件数 2件

(平成29年3月末現在)

百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する周知啓発(回数)

	H27年度	H28年度
・主要幹線道路沿道へのチラシ配布等による周知啓発	829	-
・主要幹線道路関係者への個別説明ほか	156	170
・郵送等による案内(広告主、関係事業者、業界ほか)	1,365	1,678
	計 約4,200回	



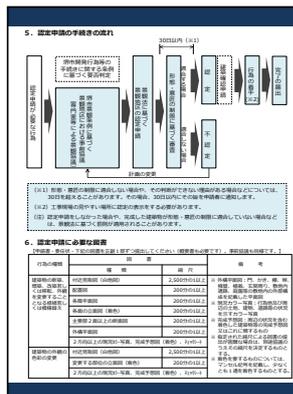
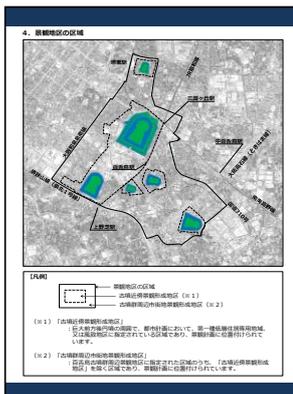
百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の制限に関する案内チラシ

早期適正化に向けた補助制度に関する案内チラシ

○平成28年度景観地区認定申請件数 56件(平成29年3月末現在)

百舌鳥古墳群周辺景観地区における認定申請について
平成28年1月から、景観地区を施行します。

- 百舌鳥古墳群周辺景観地区の認定について
 - 1. 景観地区の認定は、景観法に基づき、景観形成の良好なまちづくりを推進し、景観形成の促進を図るため、百舌鳥古墳群周辺景観地区(以下「景観地区」という)を指定し、景観形成の促進を図る。景観地区の指定は、景観法に基づき、景観形成の良好なまちづくりを推進し、景観形成の促進を図る。景観地区の指定は、景観法に基づき、景観形成の良好なまちづくりを推進し、景観形成の促進を図る。
- 景観地区の認定に必要な書類と手続き
 - 景観地区の認定申請書(1)
 - 景観地区の認定申請書(2)
- 景観地区の認定に必要な書類
 - 景観地区の認定申請書(1)
 - 景観地区の認定申請書(2)



7. 景観地区の規制内容

規制内容	規制内容	規制内容
建築物の高さ制限	建築物の色彩制限	建築物の形態意匠制限
屋外広告物の制限	建築物の設置制限	建築物の解体制限
建築物の設置制限	建築物の解体制限	建築物の解体制限

百舌鳥古墳群周辺景観地区に関する認定申請制度案内チラシ

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
百舌鳥古墳群整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は、百舌鳥古墳群のなかにある寺山南山古墳について、規模や形状の把握のために調査を実施した。調査では、墳丘裾や周濠、これまで未確認であった造り出し等を確認し、平面の形状を復元することができた。現地説明会には500人の来場があった。御廟表塚古墳では公有地化を実施し、今後の整備に向けての検討に着手した。また、『史跡百舌鳥古墳群整備基本計画』の平成29年度策定に向け、百舌鳥古墳群保存整備委員会にて審議した。

進捗状況 ※計画年次との対応

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等



寺山南山古墳発掘調査状況



寺山南山古墳現地説明会(平成28年12月4日)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

重要文化財高林家住宅保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------	---

事業期間 平成30年度～平成34年度

支援事業名 所有者 ※国宝・重要文化財等保存整備費補助金の活用を検討

計画に記載している内容 屋敷地内の土蔵等については白蟻被害等が大きく老朽化が著しいため、保存修理工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業着手に向け所有者、国との協議を進め、平成29年度から主屋等の修理を実施する予定。
 主屋は茅葺屋根の茅が腐朽し陥没、また不動堂は建物全体が傾く等、共に破損が著しく、加速度的に老朽化が進んでいるため、早急な保存修理工事が必要な状況である。
 H28 保存修理工事に向けて国、所有者と協議
 H29 設計業務・保存修理工事／H30・31 保存修理工事

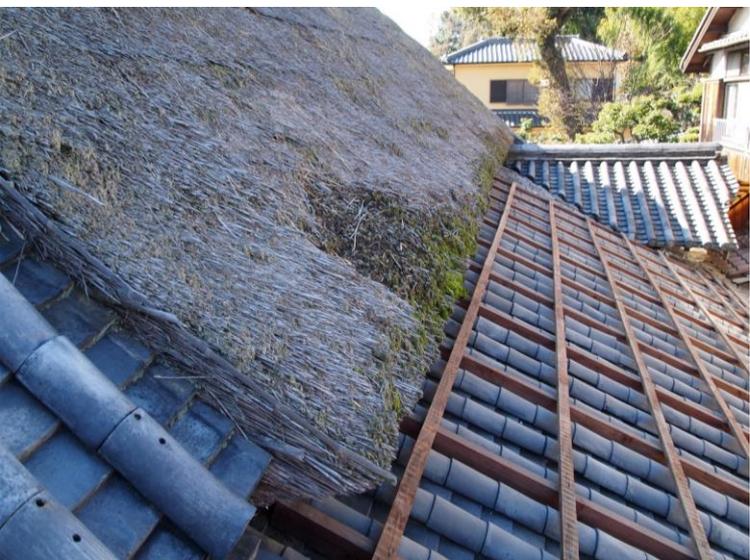
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



主屋全景



屋根背面の破損状況 茅が腐朽し陥没している。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
歴史的建造物保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域において、歴史的街なみを構成する上で重要な鉄砲鍛冶屋敷(井上家住宅)をはじめとした歴史的価値の高い建造物について保存修理を行い、活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

山口家住宅や清学院とともに、堺環濠都市を代表する歴史的建造物である「鉄砲鍛冶屋敷」の保存に向けた整備方針等について所有者と継続的に協議した。平成28年度は所蔵する鉄砲関係等の歴史資料の調査の実施と共に整備費算定のための調査も実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



鉄砲鍛冶屋敷 歴史資料調査の様子(平成29年2月9日)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 古墳を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、地域住民を中心に市民の理解と協力が必要である。そのため、市ではシンポジウムや講演会を開催し、百舌鳥古墳群や各々の古墳について市民が学び、考える機会を創出する。また市民ボランティアが中心となって実施する古墳の清掃・美化活動について、ホームページへの掲載等の広報活動を行い、市民と行政が協働した保存管理に向けた相互の意識醸成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◎「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会」との連携事業平成28年6月25日 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の集い(堺市民の会と連携 於:堺商工会議所)
 入会者数(平成29年3月末現在):15,450件(個人15,280、企業団体170)

◎ウォーキングイベントの開催(南海電気鉄道(株)と合同で開催 参加者人数164人)
 平成28年7月26日 百舌鳥古墳群夏休み子どもウォーク
 平成28年8月25日 百舌鳥古墳群夏休み子どもウォーク
 平成28年12月6日 百舌鳥古墳群ウォーク

◎仁徳天皇陵古墳周辺の清掃活動(平成28年11月6日)について、プレスリリースや堺市ホームページへ情報を掲載

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後はさらに古墳群の価値をより多くの方に理解していただけるよう、講演会やウォーキングのイベントを開催していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



堺市民の集い(平成28年6月25日)



百舌鳥古墳群夏休み子どもウォーク
(平成28年7月26日)



百舌鳥古墳群ウォーク(平成28年12月6日)



市民による清掃活動の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
堺市地域文化遺産活用活性化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度(※「平成25年度～平成28年度」への記載変更の必要性について調整を予定)

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業

計画に記載している内容 伝統文化の保存伝承団体等により構成される「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」(事務局:堺市文化部)が、地域文化遺産の保存伝承を目的に事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◎地域の文化遺産普及啓発事業

堺の手織緞通や堺線香、手描き鯉幟など、堺の伝統的な工芸技術をはじめとした文化遺産を市民に広く普及し、理解を深めるため、町家歴史館など文化財公開施設を主な会場としたワークショップ事業を7回実施。今まで注目されてこなかった地域の文化遺産に対する市民の認知度が上昇し市民が地域の文化遺産を再発見し自らの地域を活性化しているという意識醸成にむけ取り組みを行った。

◎地域の文化遺産継承事業

上神谷のこおどり保存伝承事業他6事業を実施することにより、地域の伝統文化が一層活性化し、伝統文化・行事の伝承を進めた。

◎地域の文化遺産記録作成・調査研究事業

「神輿渡御祭」の歴史的経緯や、歴史資料、絵画資料などにあらわれた渡御祭の様子について、調査をおこなった成果を報告書として祭礼の伝承者をはじめとした市民に広く公開することにより、伝統行事に対する認識をより一層深めることができ、次世代への継承につなげた。

「堺市地域文化遺産活性化実行委員会」構成団体(平成28年度) 堺こおどり保存会・船待神社神楽子供獅子踊り保存会・美多彌神社流鏝馬保存会・堺式手織緞通技術保存協会・多治速比売神社神振行事保存会・開口神社八朔祭伝統文化保存継承委員会 八田壮地域伝統文化保存継承実行委員会

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



地域の文化遺産普及啓発事業
注染ワークショップ(平成28年7月23日)



地域の文化遺産継承事業
堺こおどり保存会(平成28年10月2日)



地域の文化遺産継承事業
多治速比売神社神振行事保存会
(平成28年10月1日)



地域の文化遺産継承事業
美多彌神社流鏝馬保存会

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
ボランティアガイドの育成・支援		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	(公社)堺観光コンベンション協会、NPO法人堺観光ボランティア協会と連携し、歴史文化資源を中心に市内の主な観光スポットでボランティアガイドが案内を行っている。 今後、本市の歴史文化資源に関する市内外への発信等に伴い、来訪者の増加も見込まれることから、更なるボランティアガイドの育成や、月1回程度の情報交換会の実施、新たな施設の実地研修などを通じて、その知識や技能の向上に向けた取り組みを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【平成28年度研修実績】 ◎堺観光ボランティア入門講座(1～2回/年) ・入会前:15～18回/3ヶ月(参加人数 32人) ・入会后:6回程度/2ヶ月(参加人数 22人) ◎フォローアップ研修(3ヶ月・6ヶ月/回) ・3ヶ月(参加人数 8人) ・6ヶ月(参加人数 8人) ・1年毎(3年経過まで)(参加人数 15人) ◎全体研修・特別研修(3～4回/年)(参加人数134人) ◎WTS(Welcome to Sakai)(各語とも1回/月) ・英語 ・中国語(参加人数51人) ・韓国語(参加人数76人) ◎公開講演会(1回/年)1月実施(参加人数50人) ◎新人まち歩きガイド研修(4回/期)(参加人数 合計117人) ◎博物館研修(1回/年)(参加人数37人) ◎通常研修(6回/年)(参加人数 合計168人) ◎定点ガイド研修(1回/年・箇所)(参加人数 合計 207人) ◎世界文化遺産研修(1回/年)(参加人数 74人)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	来訪者の満足度向上につなげて行く必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
研修の様子			

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
堺市地場産業振興事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成13年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	刃物や線香をはじめとする地場産業を営む中小企業者により組織された団体の事業活動にかかる経費の一部を補助することにより、地場産業の振興を図る。 【補助対象事業】 ①地場産業振興事業 ……経営の近代化及び合理化に関する事業、販路の開拓に関する事業、各種情報の収集に関する事業 ②ものづくり基盤技術継承事業……後継者の育成に関する事業、技術・技法の記録、収集及び保存に関する事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度 刃物、線香など市内地場産業7団体に対し、本補助金を交付し、事業活動を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○地場産品の販路開拓を目的としたイベントの開催、出展			
○市内施設等での地場産品の展示			
○経営の合理化を目的とした研修会の開催			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
堺市伝統産業後継者育成事業補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 刃物(経済産業大臣指定伝統的工芸品)や線香(大阪府知事指定伝統工芸品)などの伝統技能の継承を図るため、後継者を雇用了事業所に人件費の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度 市内伝統産業事業者に対し、本補助金を18件(28名)交付し、後継者育成を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○刃物(刃付け)技法の指導育成



○染色(注染)技法の指導育成



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
堺市ものづくりマイスター制度		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成14年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統産業への市民等の理解を深めるため、市が卓越した技能を持つ者をマイスターとして認定し、実演・体験講座などの講師として派遣する。平成28年11月現在で対象とする刃物、線香等の部門で伝統工芸士ら23名を認定している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度 派遣等件数 127件 参加人数 3,335人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○小学校での刃物講座



○手描き鯉幟体験講座



○手すき昆布体験講座



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
	現在の状況	
視点場の整備に関する調査検討		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

古墳あるいは古墳群を望むことができる視点場(ビューポイント)について、必要な調査検討を行う。古墳の形態的な特徴を一番理解し捉えられる場所(例えば古墳の前方部と後円部のくびれ部にある「造り出し」から上空への広がりを見望する場所)や古墳あるいは古墳群の持つスケールの大きさなどを体感できる場所について調査を行い、江戸時代の絵図も参考に古墳がかつてどのように見られてきたかという視点を持ちながら、視点場としての整備が必要な箇所について、周遊路整備との整合を図りながら、その整備手法等についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

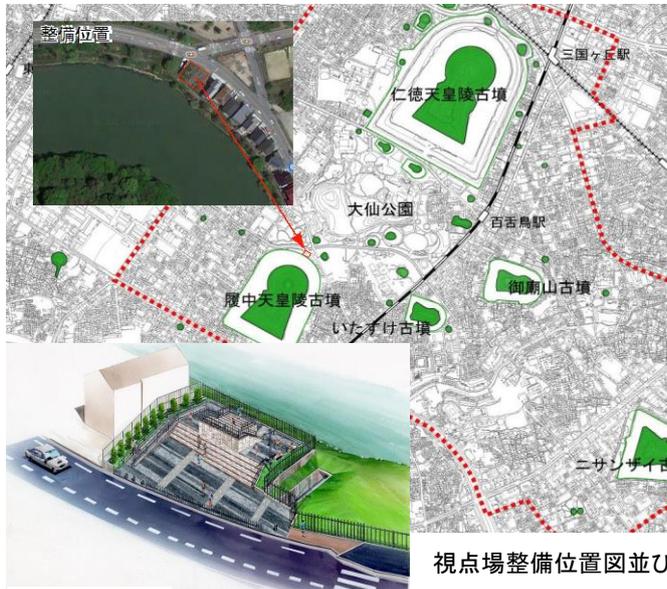
履中天皇陵古墳北側において、視点場用地を取得済み
 平成27年度 設計完了
 平成28年度 工事実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



視点場整備位置図並びに整備イメージ

整備イメージ



視点場整備実施状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
百舌鳥古墳群水質改善事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 百舌鳥古墳群の水質改善に向け、目標とする水量及び水質を検討し、外部から古墳の濠への水の導入、濠の水の循環などについて調査研究を行う。そして、個々の古墳の状況に適した手法により、濠の水量の確保と水質保全を図るために必要となる水源及び浄化方法の検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◎「百舌鳥古墳群水質改善基本計画策定補助業務(平成24年度)」によって、仁徳天皇陵古墳、反正天皇陵古墳、履中天皇陵古墳、いたすけ古墳、御廟山古墳、ニサンザイ古墳の水質改善に向けた検討については実施済。
- ◎その検討結果を踏まえ、仁徳天皇陵古墳における水質改善の目標数値(第3濠正面でのクロロフィルaが100 μ g/l以下)を設定し、実現に向けたシミュレーション(工業用水:400t/日、井戸水:400t/日)を実施
- ◎これにより、水質改善の目標設定、並びに、そのための手法検討が一定完了

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



仁徳天皇陵古墳の外濠の状況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
まちなみ再生事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、改修が進められた町家歴史館「山口家住宅」をはじめとする町家のほか、多くの寺社が立地する寺町など、歴史的建造物が多く残る北部とその周辺(堺環濠都市北部地区)について、歴史文化資源を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を実現する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

協議会と連携のもと地域住民に対して歴史的なまちなみの再生に向けた意識啓発の取組み及び修景補助制度について周知を行うとともに、町家の修景工事に対する補助を行った。(平成28年度補助金交付件数:4件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■堺環濠都市北部地区における歴史的なまちなみ再生に向けた取組み

○平成28年度の取組み

歴史的なまちなみ再生に向けた取組み(公民協働の取組み)		
	市主体	まちなみ再生協議会主体
平成28年4月～	修景補助制度周知、修景相談実施(随時)	広報スペースとして「堺町家案内所」を開設
平成28年5月		第5回総会開催
平成28年6月		協議会ニュースvol.9発行
平成28年7月	修景補助第2号、第4号物件修景工事完了	
平成28年8月	修景補助第5号物件修景工事完了	
平成28年9月		第1回町なみ再生連続講座開催
平成28年10月	修景補助第3号物件修景工事完了 ビュースポット発見まち歩き開催	第2回町なみ再生連続講座開催
		協議会ニュースvol.10発行 町家・町なみを知る展示開催(～11月) 第1回、第2回「昔・町なみ 歩こう」イベント開催
平成28年11月	myビュースポット写真展in堺環濠都市開催	第3回「昔・町なみ 歩こう」イベント開催 第3回町なみ再生連続講座開催
平成28年12月		協議会ニュースvol.11発行
平成29年2月		研修見学会開催(小浜市)
平成29年3月		協議会ニュースvol.12発行

■取組み状況写真、資料

○総会実施状況(平成28年5月15日)



○協議会ニュースの発行(vol.12)



○ビュースポット発見まち歩き、myビュースポット写真展in堺環濠都市開催の様子



(平成28年10月9日)



(平成28年11月5日、6日、12日、13日)

○修景事業(施工前、施工後)



施工内容:(外壁)漆喰風塗装、(室外機等)目隠し格子設置 等



施工内容:(格子)部分修繕及び古色塗り、(腰壁)焼杉板張替 等



施工内容:(駒寄、腰壁)部分修繕、(樋)付替え(銅製)、(土間)洗い出し仕上げ 等



施工内容:(腰板、格子)焼杉板、格子新設(ベンガラ塗料)、(ゴミ箱)焼杉板内に収納

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
ザビエル公園再整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 ザビエル公園は昭和24年(1949)に開設し、現在、開設面積は1.47haの近隣公園である。当該地は、16世紀半ばに、フランシスコ・ザビエルの布教活動にかかわった豪商の屋敷跡につくられたといわれる歴史ある公園であり、紀州街道の沿道に位置している。この公園について、歴史・文化を感じながら市民や来訪者が憩え、周辺のまちなみと調和した地域の拠点公園として再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 第2期整備工事完了
- ・ 植栽工 張芝3,068㎡、地被類2,484鉢
- ・ インターロッキング舗装 A=674㎡
- ・ 擬石平板舗装 A=256㎡
- ・ 屏風オブジェ 2基 ほか

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

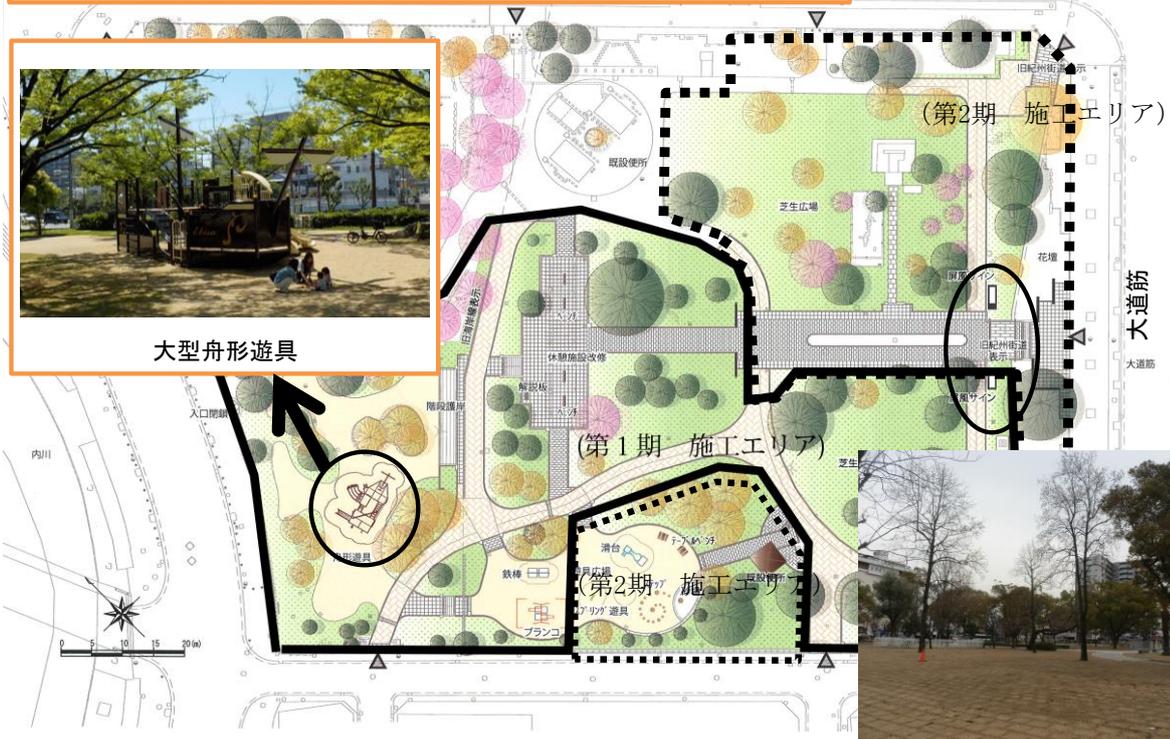


屏風オブジェ(住吉祭礼図屏風)

紀州街道沿道部



大型舟形遊具



園内全景

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
宿院町公園再整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 宿院町公園は昭和25年(1950)に開設され、現在、開設面積0.24haの街区公園である。公園内の樹木等を整理するなど良好な景観の形成を図り、歴史を感じながら市民や来訪者が憩える公園として再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

◎再整備工事完了
 ・再整備面積 A=2,438㎡
 ・『白夜の兎群像』の軽微補修及び土間改修
 ・『住吉祭・神輿渡御』案内看板設置
 ・インターロッキング舗装 A=427㎡
 ・高中低木植栽工(シダレザクラほか) 154本
 ・地被類植栽工(ヤブランほか) 1,320鉢 ほか

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■計画平面図

観光エリア
【現状】
 モニュメント(「白夜の兎」群衆)が老朽化しており、周囲の段差が観光エリアの空間を狭めている。
【計画】
 観光エリアの段差を無くして空間を広げると共に、モニュメントや圍名柱の美装化を行い、新設するモニュメント解説板に住吉祭や神輿渡御の記載を追加する。
 モニュメント「白夜の兎」群衆 モニュメント解説看板

レクリエーションエリア
【現況】
 利用されていないステージが空間を狭めている。
【計画】
 ステージを撤去し、健康遊具1基、スイング遊具2基、すべり台を追加し、多世代が集い憩える空間を創出する。



整備状況

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
阪堺線停留場美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	地域公共交通確保維持改善事業補助金(利用環境改善促進等事業)		
計画に記載している内容	阪堺線停留場の美化化 ・環濠都市区域内の停留場について、美化化(上屋、ホームの改修等)を実施		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
綾ノ町上り停留場の改修について協議を行った。 ※平成29年度設計業務実施予定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
綾ノ町上り停留場(現況)			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
		項目	現在の状況
		紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿道の植栽帯の改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	<p>旧紀州街道にあたる大道筋は、古くから栄えた堺を南北に走る約2.5kmの幹線道路であり、付近には、山口家住宅や千利休屋敷跡などの歴史的資産がある。また、道路幅員約50メートルの中心には阪堺線の軌道敷があり、その軌道敷と車道部の間に植栽帯を設け、片側に低木の植栽、反対側に花壇の組み合わせで交互に設置しているが、花壇の維持管理や緑のまちなみ景観の形成に課題があることから、紀州街道沿道の景観づくりとして沿道の植栽帯の改善を行う。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>◎第2期整備工事完了(御陵前交差点～宿院交差点 延長約0.9km)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割石縁石 329m ・ヒラドツツジ 約2,900株 ほか 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>限られた予算で花壇管理を行っているため、既存植栽帯の約半分を占める花壇は、十分な除草・植え替え・花柄摘みが出来ていない。また、植えてから開花するまでの期間や花が終わってから植え替えるまでの期間の長いものは、景観や観光上の課題となっている。</p> <p>このため、平面花壇は、修景効果の高い各電停付近、主要交差点付近に集約(平面花壇:約4割→約1割)した上で雑割り縁石で囲むと共に、1年を通して観賞できるよう管理水準を向上させる。また、他の平面花壇については、既存植栽帯の約半分を占めるヒラドツツジとし、1年を通して安定した緑とし、通り景観を向上させる。</p>			
			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
百舌鳥古墳群に関する情報発信			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 百舌鳥古墳群を将来にわたり末長く保存・管理していくためには、市民はもちろん、国内外にその価値と魅力を情報発信していく必要がある。①インターネットによる情報発信 本市のホームページにおいて百舌鳥古墳群の価値や魅力をCGなども活用し紹介する。②シンポジウムや講演会の実施 市民向け講演会や、海外からの有識者を招きシンポジウムを開催するなど、百舌鳥古墳群の価値や魅力を紹介する。③パンフレットやポスターによる情報発信 他言語によるパンフレットを作成し、関西国際空港での配架をはじめ、ポスターも作成し、様々な場所でPRを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①本市ホームページを活用し、タイムリーな情報発信を行った。
 ②各種団体、民間企業と連携したPRの実施
 平成28年6月25日 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の集い(堺市民の会と連携 於:堺商工会議所)
 平成28年6月25日 百舌鳥・古市古墳群PRイベント(近畿日本鉄道(株)と連携 於:近鉄大阪阿部野橋駅)
 平成28年7月14日 堺高島屋における百舌鳥・古市古墳群の世界遺産PR((株)高島屋と連携 於:堺高島屋)
 平成28年7月25日 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産国内推薦の結果を報告する会(堺市民の会と連携 於:堺市役所)
 平成28年8月13日、14日 百舌鳥・古墳群PRイベント((株)イトーヨーカ堂と連携 於:アリオ鳳)
 平成29年2月10日 百舌鳥・古墳群PRイベント(関西電力(株)と連携 於:関西電力大阪北支社)
 平成29年3月31日 百舌鳥・古墳群PRイベント(南海電気鉄道(株)と連携 於:なんばガレリアツインビジョン)
 ③PRちらしやポスターを作成し、PR効果が見込める場所に配架・掲出を行った。また、堺市民の集いやアリオ鳳でのPRイベント等で配布し、幅広く情報発信を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後は百舌鳥古墳群に関心のない層に対してのPRを強化する必要がある。また、市内のみならず、府内、関西、全国へと百舌鳥古墳群をPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等



堺市民の集い(平成28年6月25日)



大阪阿部野橋駅でのPR(平成28年6月25日)



堺高島屋でのPR活動(平成28年7月25日)



アリオ鳳でのPRイベント(平成28年8月13)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
百舌鳥古墳群周遊案内板の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 百舌鳥古墳群に親しみながら周遊できるよう、来訪者の利用が見込まれる鉄道駅や周遊ルートで、市内外からの来訪者にとってわかりやすい案内板の設置計画を策定し、整備に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

既存の周遊案内板等の整備状況を整理し、整備方針の検討を行った。

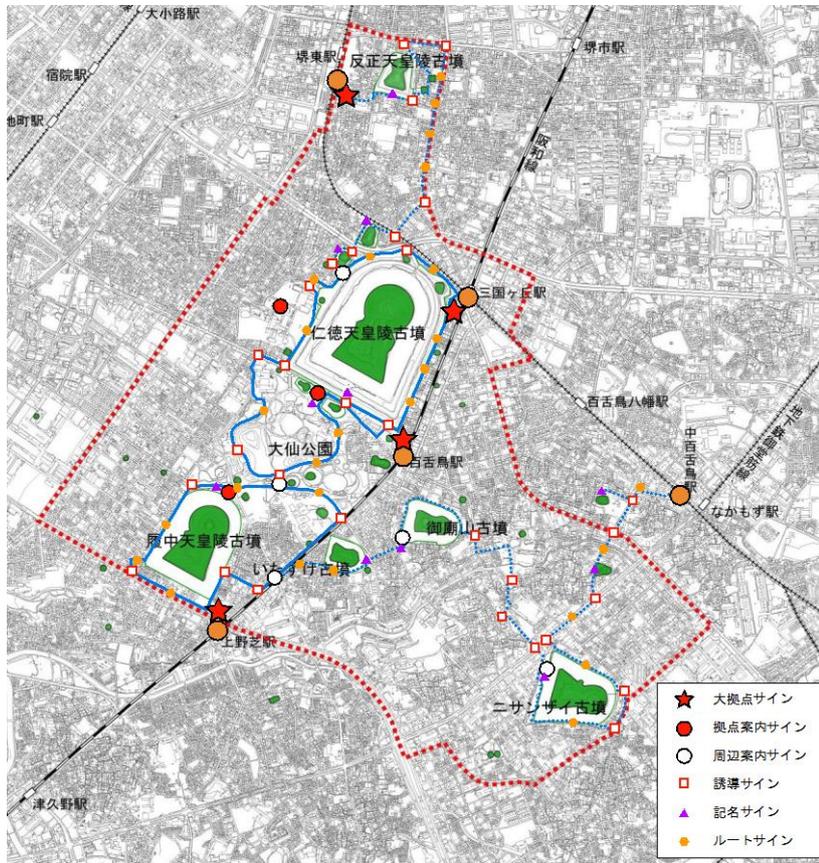
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

既存のサインを含めた意匠の統一
古市古墳群とのサイン統一

状況を示す写真や資料等



サイン種別	内容	設置位置
大拠点サイン	市域・地区・周辺案内、資源解説を掲載する総合的な案内サイン	地区へのゲートとなる鉄道駅近傍
拠点サイン	地区と周辺の案内サイン	周遊路上の主要結節点
周辺案内サイン	設置位置周辺の案内サイン	拠点サインの補完必要箇所
誘導サイン	施設・資源誘導サイン	周遊路上主要結節箇所
記名・解説サイン	各施設・資源の名称、解説表記	各施設
ルートサイン	周遊路上であることを路面等表示	100～200m間隔での設置

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度
	現在の状況	
百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成31年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市民や来訪者に百舌鳥古墳群の歴史的意義や価値を理解していただき、古墳群の保護意識を醸成するため、古墳群について学び、その雄大さを体感できるガイダンス施設を大阪府立大学旧大仙キャンパス跡地に整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◎(仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設建設工事基本設計業務が完了。実施設計に着手。(～平成29年12月)
- ◎展示設計に着手。(～平成29年12月)
- ◎堺市博物館内に設置の百舌鳥古墳群ガイダンスコーナーで、高精細な映像による来訪者向けガイダンスを実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成31年度末の開館に向け、施設の実実施設計、展示設計等を進める。また、予定地への既存進入路が狭小なことから、バス等の大型車も通行できるアクセス道路の整備に向け用地取得を進める。

状況を示す写真や資料等

百舌鳥古墳群ガイダンスコーナー(堺市博物館内)



百舌鳥古墳群シアター(外観)



百舌鳥古墳群シアター(内部)



百舌鳥古墳群展示コーナー

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度 現在の状況
環濠都市区域内における案内板の改善			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 神社や寺院を中心に設置している既存の施設案内板について、見やすさや分かり易さなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化を行い、歴史文化資源などの魅力発信と目的地への円滑な移動を誘導する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

周辺案内板をはじめ誘導サインなどの表示内容の見直しを行い、改修・修繕を実施した。
 <実績>平成28年度 延べ74か所 与謝野晶子歌碑などを追加

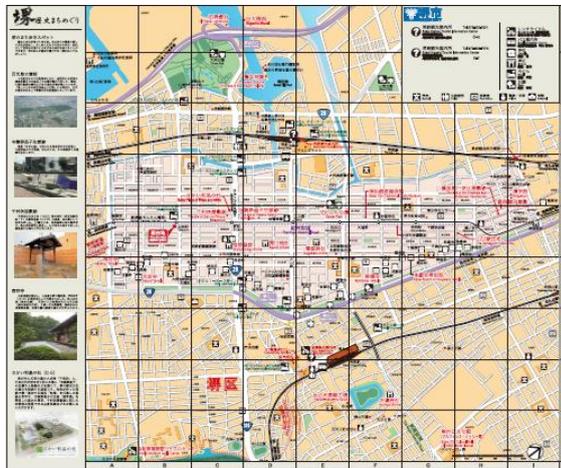
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

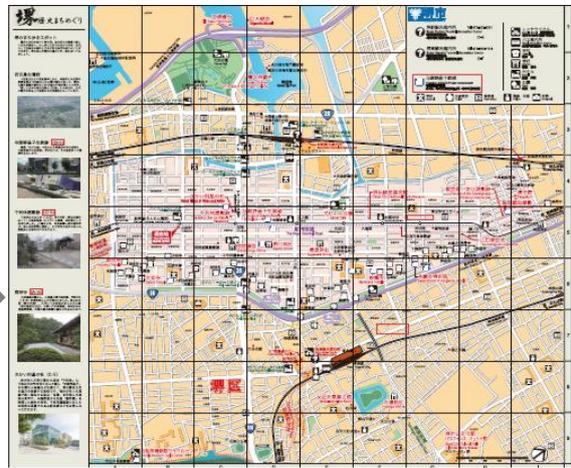
計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

来訪者の市内周遊につなげて行く必要がある。

状況を示す写真や資料等



周辺案内板改修前



周辺案内板改修後

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	
史跡・重要文化財等公開事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成10年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 非公開の史跡や重要文化財の公開等を実施し、また歴史文化についての講座を開催し、広く市民に文化財の普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

春季堺文化財特別公開 平成28年4月1日～3日 妙國寺、南宗寺、本成寺等 9か所 来場者数19,175人(関連施設含む)
 秋季堺文化財特別公開 平成28年11月3日～6日、11日～13日 妙國寺、南宗寺、長泉寺、鉄砲鍛冶屋敷等 13か所 来場者数45,097人(関連施設含む)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



春季堺文化財特別公開(平成28年4月1日～3日)



秋季堺文化財特別公開(平成28年11月3日～6日、11日～13日)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
自転車通行環境の整備			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 歩行者・自転車利用者の安全を確保するため、自転車通行環境の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

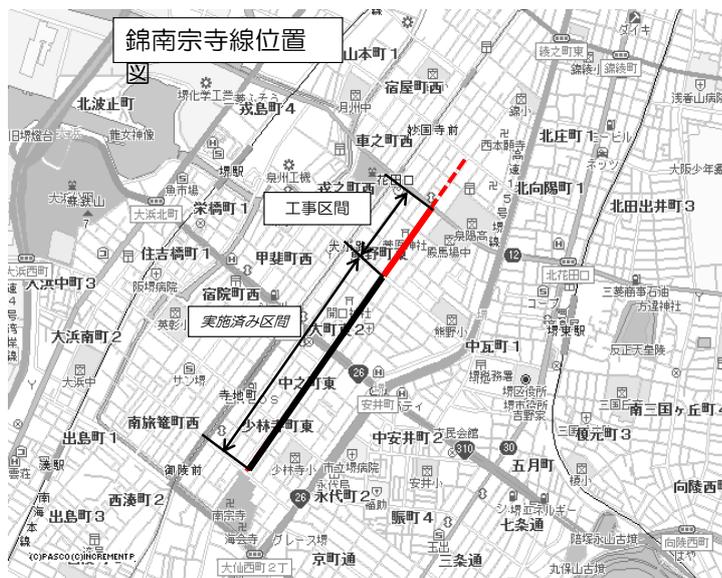
錦南宗寺線における自転車レーンの整備に関する設計、工事契約等を実施。
 深井畑山宿院線における自転車レーンの整備に関する設計、工事契約等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



錦南宗寺線現況



深井畑山宿院線現況

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

学校教育の場での茶の湯体験(堺スタンダード事業)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成17年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 千利休生誕の地・堺に育つ子どもたちが「茶の湯」の体験を通じて、自国の伝統文化を知るとともに、茶道において大切にされている「もてなしの心」や人とのかかわり方を学び、豊かな心を育むことをねらいとして「茶の湯体験」を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度は小学校93校(全小学校)、中学校27校で茶の湯体験を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

堺市立三原台中学校の取組み



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定および登録等の候補となる文化財に関する調査を継続する。市域の文化財の総合的な把握をより推進するとともに、文化財指定等を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年4月5日 「絵本墨画大寺縁起下絵 土佐光起筆」を大阪府指定文化財に指定。
 平成29年2月6日 「高倉寺金堂他」「放鳥銃定限記碑」「孫太夫山古墳前方部及び周濠」を堺市指定文化財に指定。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



堺市文化財保護審議会 (平成29年1月30日開催)



高倉寺金堂



孫太夫山古墳前方部及び周濠



放鳥銃定限記碑

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 町家等の歴史的建造物を指定の基準に沿って歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等の意向や建造物の損傷状態の調査を行い、保存・修理・修景に対する助成を行う。
 百舌鳥古墳群では、平成28年度より整備基本計画の策定に着手し、古墳の修景や復元等の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 「百舌鳥古墳群整備事業」(再掲:評価軸③-1:P3を参照)
- 「重要文化財高林家住宅保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P4を参照)
- 「歴史的建造物保存修理事業」(再掲:評価軸③-1:P5を参照)
- 「視点場の整備に関する調査検討」(再掲:評価軸③-1:P12を参照)
- 「百舌鳥古墳群水質改善事業」(再掲:評価軸③-1:P13を参照)
- 「まちなみ再生事業」(再掲:評価軸③-1:P14を参照)
- 「百舌鳥古墳群周辺案内板の整備」(再掲:評価軸③-1:P20を参照)
- 「百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備」(再掲:評価軸③-1:P21を参照)
- 「環濠都市区域内における案内板の改善」(再掲:評価軸③-1:P22を参照)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



百舌鳥古墳群整備事業
 寺山南山古墳調査の専門委員による現地指導
 (平成28年11月28日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を災害から保護するため、防災意識の高揚、防災設備等の整備を図り、住民、文化財の所有者又は管理者等に対する防災意識の普及と啓発を進めるとともに、消防局並びに関西電力株式会社、大阪ガス株式会社と連携を行い、定期的に防災設備の保守点検等や啓発に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーの実施(所轄消防署、関西電力、大阪ガス、文化財課 合同査察)
平成29年1月25日・26日 指定文化財寺社等 24箇所

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



平成28年度 文化財防火デーの様子
国宝 桜井神社拝殿(平成29年1月29日)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成28年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱い		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為の実施にあたっては、開発に伴う文化財保護法に基づく届出又は通知の提出を徹底するとともに、開発に際して埋蔵文化財を確認した場合には、工法の検討や、計画変更によって埋蔵文化財の地下保存などの措置を協議し、遺構の保護に努めるほか、やむを得ない場合は、記録保存などの対応についても速やかに実施していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内には堺環濠都市遺跡、土師遺跡などの埋蔵文化財包蔵地があり、開発に対しては、届出または通知に基づき適切に指導している。
 平成28年度は、百舌鳥古墳群のなかにある寺山南山古墳について、規模や形状の把握のために調査を実施した。調査では、前方部の墳丘裾や周濠、造り出し等を確認し、平面の形状を復元することができた。また堺環濠都市遺跡では、中世の環濠を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



寺山南山古墳出土の埴輪列



堺環濠都市遺跡の調査(平成28年7月)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財に関する普及・啓発の取組み、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

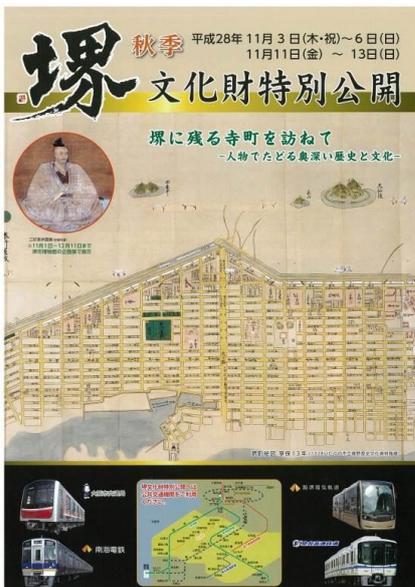
計画に記載している内容 本市の文化財の価値を広く後世に伝えるため、文化財の活用を進めながら、観光ボランティアガイドをはじめとする各種団体等と連携を行い、普及・啓発するための機会の提供に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

百舌鳥古墳群講演会の開催 (平成29年2月5日 参加者数460人)
 「市民と協働した古墳の保存管理に向けた取組み」(再掲:評価軸③-1:P6を参照)
 「堺市地域文化遺産活用活性化事業」(再掲:評価軸③-1:P7を参照)
 「ボランティアガイドの育成・支援」(再掲:評価軸③-1:P8を参照)
 「百舌鳥古墳群に関する情報発信」(再掲:評価軸③-1:P19を参照)
 「史跡・重要文化財等公開事業」(再掲:評価軸③-1:P23を参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



史跡・重要文化財等公開事業
堺文化財特別公開パンフレット



百舌鳥古墳群講演会 (平成29年2月9日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度 年月日	平成28年度 掲載紙等
環濠都市 区域 関連	サラメシ	平成28年5月12日	NHK総合1・大阪
	千利休の新記念館など堺を訪ねて	平成28年5月15日	産経新聞
	さかい利島の杜の魅力が切手に	平成28年5月28日	サンケイリビング新聞
	日本の轍	平成28年6月14日	関西テレビ1
	堺の和包丁世界にPR	平成28年6月14日	日経
	真田丸(25)「別離」	平成28年6月26日	NHK総合1・大阪
	おとな旅あるき旅 美食と伝統の技 夏の堺をぶらり旅	平成28年7月16日	テレビ大阪1
	神輿若返り大和川渡る 住吉祭	平成28年8月2日	読売
	一志相伝～受け継がれる職人の心～	平成28年8月4日	ABCテレビ1
	「千利休」主人公に大河ドラマを 堺市長ら「実現する会」発足	平成28年8月8日	産経
	雨上がり食楽部 大阪でイチバン歴史の古いお店を徹底調査!	平成28年8月27日	関西テレビ1
	ニュースほっと関西 都構想議論が再開へ 空き家の新防災対策	平成28年8月31日	NHK総合1・大阪
	中世の濠の一部確認 堺環濠都市遺跡の発掘調査	平成28年9月6日	毎日
	キャスト フランスから大阪へ鍛冶職人修業に密着	平成28年9月13日	ABCテレビ1
	堺線香 被災地で香れ	平成28年9月30日	朝日
	刃物道場8人修了 堺5社で職人の道へ	平成28年10月1日	朝日
	ニュース	平成28年10月15日	NHK総合1・大阪
	あさバラ! 2時間SP	平成28年10月15日	読売テレビ1
	堺の歴史に思いはせ まちあるきツアー-153人楽しむ	平成28年11月7日	産経
	世界が驚いたニッポン! スゴ～イデスネ!! 視察団 4時間スペシャル	平成28年12月17日	ABCテレビ1
関西のニュース・気象情報	平成28年12月18日	NHK総合1・大阪	
ニュースほっと関西	平成28年12月21日	NHK総合1・大阪	
おはよう関西 NYで人気! 火花散る堺の打刃物を生中継	平成28年12月22日	NHK総合1・大阪	
百舌鳥 古墳 群 周辺 区域 関連	陵墓調査自治体と協力へ 宮内庁が方針転換保全に助言を活用	平成28年4月12日	産経
	ぼくらの水質浄化船改良 堺工科高生古墳の濠で実証実験	平成28年6月6日	読売
	関西のニュース	平成28年6月25日	NHK総合1・大阪
	世界遺産めざし学ぼう 堺市、古墳など学習ノート	平成28年8月10日	毎日
	ふとん太鼓・たんじり「堺百町」16年版ガイドマップ	平成28年8月11日	朝日
	堺市、学芸員の出前講座に力 古墳群世界遺産登録を目指して	平成28年8月21日	産経
	首都圏での知名度アップも	平成28年8月25日	日経
	堺市 世界遺産見据え展望台	平成28年8月25日	朝日
	ちちんぷいぷい 昔の人…大阪藤井寺&布団担ぐ秋祭	平成28年9月8日	MBS毎日放送
	ふとん太鼓担いで月見祭 堺・百舌鳥八幡宮で始まる	平成28年9月18日	朝日
	世界遺産へ 堺の古墳愛 高校生の視点 探訪DVD制作	平成28年10月16日	産経
	世界遺産をめざし、反正陵古墳を清掃	平成28年10月25日	朝日
	古墳巡り レンタル自転車GO	平成28年11月18日	朝日
	祭祀の場 造り出し出土 寺山南山古墳現地説明会	平成28年12月2日	朝日
	ヒルナンデス!	平成29年1月12日	読売テレビ1
新日本風土記 一堺一	平成29年2月24日	NHK BSプレミアム	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の維持及び向上に記載される事業が行われ報道されることで、市民の歴史的風致に対する関心・認識が高まり「歴史遺産の保存・活用」への啓発に寄与していることが推察される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(1)古墳時代をはじめ各時代に培われてきた多様な歴史・文化資源の保存と活用 古墳や町家等の歴史・文化資源について、保存・活用に取り組む。</p>
計画に記載している課題	<p>堺市には高い価値を有する古墳や町家、寺社等の歴史的建造物等が数多く残されているものの、老朽化が進み、その維持管理や補修費用が大きな負担となるなどにより、現代風の建物への建替えや取り壊しなどが進みつつある。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>○百舌鳥古墳群整備事業 堺市百舌鳥古墳群保存整備委員会を5回に渡り開催し、「国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画」を策定した。また、収塚古墳及び寺山南山古墳の形状確認のための発掘調査を実施し、「史跡百舌鳥古墳群整備基本計画」の策定に向けた検討を行った。なお、発掘調査では、市民向けの現地説明会も開催した。(参加人数 平成27年5月:550人 平成28年9月:450人 平成28年12月:500人)</p> <p>○重要文化財高林家住宅保存修理事業 御廟山古墳に隣接する高林家住宅は、江戸時代に建築された民家で重要文化財指定されている。高林家住宅の保存修理に向け、所有者との協議を進めている。</p> <p>○歴史的建造物保存修理事業 山口家住宅や清学院とともに、堺環濠都市を代表する歴史的建造物である「鉄砲鍛冶屋敷」の保存に向け、所有者と整備方針等について協議を進めてきた。このほか、所蔵する歴史資料約1万点のうち、鉄砲関係の歴史資料の調査等も行った。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>○計画的かつ着実に百舌鳥古墳群を残していくために、「国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画」を策定し、発掘調査を行いながら適切に保存・管理を進めている。また、発掘調査に合わせて市民向けの現地説明会を開催したことにより、保存・管理に必要となる市民理解が深まった。</p> <p>○重要文化財高林家住宅や鉄砲鍛冶屋敷の保存修理の方法について所有者と協議を行い、歴史的建造物の保存・活用に向けた取組みを着実に進めている。</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p>■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<p>■計画の見直しが不要 □計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(2)「もののはじまり何でも堺」に象徴される伝統の継承と振興 伝統産業の振興・継承にあたっては、消費者ニーズや市場環境の変化に対応した商品開発や販路開拓、情報発信の強化を図る。 また地域の祭礼行事の保全・継承にあたっては、不足する祭礼行事の新たな担い手としての新規住民の参加、技術伝承のための記録作業などを進める。</p>
計画に記載している課題	<p>生活スタイルや産業構造の変化を背景に地域に根付いていた伝統産業への関心が薄れつつあり、その継承・継続にも影響を及ぼしている。 また、茶の湯など、堺市に古くから伝わる伝統文化も学ぶ機会が限られるなど、近年の社会・経済情勢を受け、課題が生じている。 さらに、伝統行事や祭礼の歴史的意義・大切さに対する認識の希薄化により、次世代の担い手が不足してきている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>○市民と協働した古墳の保存管理に向けた取り組み 百舌鳥古墳群に関するシンポジウムや講演会を開催したほか、「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会」(入会者数(平成29年3月末現在):15,450件(個人15,280、団体170))を設立した。また、市民ボランティアが中心となって実施する仁徳天皇陵古墳周辺の清掃活動や民間企業と連携したウォーキングイベントを開催した。</p> <p>○堺市地域文化遺産活用活性化事業 手織り緞通や線香等、堺の伝統的な工芸技術をはじめとした文化遺産を市民に普及し、理解を深めるため、町家歴史館において、ワークショップを実施した。また、地域の文化遺産継承に向け、上神谷のおどり保存伝承事業等を実施したほか、神輿渡御祭の歴史的経緯や渡御際の様子について記録・調査を行った。</p> <p>○ボランティアガイドの育成支援 ボランティアガイド養成講座や他都市のボランティアガイドとの交流研修等を通じてガイドの知識や技能の向上等、育成のための支援を実施した。</p> <p>○堺市地場産業振興事業補助事業 刃物や線香など伝統産業を含む地場産業の振興を図るにあたり、中小企業者により組織された団体が行う、①経営の近代化・合理化、販路開拓、情報収集に関する事業、②後継者の育成や技術・技法の記録等に関する事業について、経費の一部補助を実施した。</p> <p>○堺市伝統産業後継者育成事業補助事業 刃物や線香などの伝統技能の継承を図るにあたり、後継者を雇用した事業所に人件費の一部補助を実施した。 (後継者育成に向けた支援件数:74件(92人) ※平成25年度～28年度累計)</p> <p>○堺市ものづくりマイスター制度 伝統産業に関して卓越した技能を持つ者を市がマイスターとして認定し、実演・体験講座などの講師として派遣した。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>○百舌鳥古墳群に関するシンポジウムなどのイベントの開催等を通じて、多くの方々に古墳の魅力や価値、重要性に関する意識啓発を実施したほか、「百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援する堺市民の会」では着実に会員数が増加するなど、市民理解も深まってきている。</p> <p>○伝統産業については販路開拓や後継者育成等に向けて様々な形で支援を行い、刃物や線香を中心に報道で取り上げられている。このような取り組みにより、歴史と伝統を反映した人々の活動支援の取り組みの効果も表れている。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p>■想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p>■計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

<p>評価対象年度</p>	<p>平成25 年度～ 28 年度</p>
<p>計画に記載している方針</p>	<p>(3)古墳や歴史的まちなみを活かした魅力ある景観の創出 堺に暮らす人々及び堺を訪れる人々が歴史的風致を感じられるような魅力ある景観形成を進める。特に、古墳周辺においては環境整備とともに、これと調和し、また古墳への眺望に配慮した周辺市街地の景観の保全・創出を図る。 また、町家が多く残る地域においては、歴史的なまちなみを形成するとともに、阪堺線が通る紀州街道沿道について停留場の美装化、紀州街道の沿道の景観づくりにより市街地環境の整備を図る。</p>
<p>計画に記載している課題</p>	<p>古墳及び周囲には古墳と一体となった緑地があるものの、周辺の建物等により古墳への眺望が阻害され、一望できない現状となっており、周遊に対する取組みが不足している。 また、歴史的建造物等の周辺市街地では、街道沿道などでの空地等の増加、建て替わりなどにより歴史的な景観は失われつつあるとともに、中心を走る阪堺線停留場の老朽化の進行や沿道の植栽帯が充実していない面も、街道の風情が消失しつつある要因の一つとなっている。</p>
<p>対応する進捗評価項目とその推移</p>	<p>○百舌鳥古墳群及び周辺区域において建築物の高さや形態意匠、屋外広告物の大きさや高さ等の制限内容を見直しを行い、古墳のあるまちとして相応しい景観づくりに向けた取組みを行った。 (屋外広告物の新たな制限に関する周知啓発件数:約2,700件、景観地区における建築物の認定申請件数:71件(平成28年1月～平成29年3月末現在))</p> <p>○視点場の整備に関する調査検討 百舌鳥古墳群のうち、大型古墳6基を結ぶ周遊ルート上に視点場として相応しい箇所の検討を実施し、履中天皇陵古墳北側に視点場整備箇所を決定した。当該地の用地を取得し、平成27年度に設計完了、平成28年度に工事着手した。</p> <p>○百舌鳥古墳群水質改善事業 各古墳での水質改善に向けた調査検討を行ったほか、一定の水質基準を定めて、百舌鳥古墳群(仁徳天皇陵古墳)にてシミュレーションを実施した。この結果から水質改善の方向性を整理した。</p> <p>○まちなみ再生事業 堺環濠都市北部地区において、地域住民が中心となった「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」が設立、当地区のまちなみの特徴を整理したガイドラインを作成するとともに修景補助制度を創設した。当協議会との連携のもと、地域住民に対して歴史的なまちなみの再生や補助制度について勉強会開催・協議会ニュース発行等を通じて周知するとともに、町家の修景工事に対する補助を行った。(修景工事件数 平成27年度:1件、平成28年度:4件)</p> <p>○ザビエル公園再整備事業 大型舟形遊具の整備や中世における海岸線位置を園路で再現するなど、歴史・文化を感じながら市民や来訪者が憩え、周辺のまちなみと調和した地域の拠点公園となるよう再整備を行った。</p> <p>○宿院町公園再整備事業 園内の樹木等を整理するなど、良好な景観形成を図るとともに、市民や来訪者が憩える公園となるよう再整備を行った。</p> <p>○阪堺線停留場美装化事業 宿院停留場(上り・下り停留場)について、上屋、ホームの改修等を実施した。</p> <p>○紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿線の植栽帯の改善) 紀州街道を走る阪堺線沿いの既存の植栽帯について、歴史・文化を感じられるような景観の創出に向けて、改善工事を実施した。</p>

<p>方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)</p>	<p>○百舌鳥古墳群及び周辺区域については、古墳への眺望に配慮した景観形成に向けた新たな制限の周知はもとより、景観地区での建築物の認定申請に係る協議を重ねてきたことにより、事業者・設計者の景観形成に係る意識が高まってきている。このほか、視点場の整備に関する調査検討に加え、整備も実施し、来訪者が古墳あるいは古墳の持つスケールの大きさや存在感を体感できる空間を創出するなど、周遊に関する取組みを行った。</p> <p>○堺環濠都市区域については、紀州街道を通る阪堺線の停留場や植栽帯、街道に隣接する公園を整備するとともに、特に堺環濠都市北部地区では、堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会が中心となった歴史的な町なみ再生に関する意識啓発等の取組みや町家の修景が進んでいる。これらの取組みにより、神輿渡御祭の舞台である紀州街道を中心に景観形成が図られつつある。</p>
<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p><input type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input checked="" type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度	平成25 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>(4)歴史の重層性に育まれた堺の都市魅力の発信と共有 市民への情報発信、あるいは“堺で育まれてきた歴史・文化資源”に触れる機会の創出などに取り組み、市民の意識醸成を促進する。 堺市が受け継いできた伝統産業や茶の湯体験等の地域固有の歴史・文化資源について、数多くの来訪者が触れ、感じ、共感できるよう、回遊性の向上に向けた基盤整備等の環境整備を進める。</p>
計画に記載している課題	<p>茶の湯をはじめとする伝統文化など、堺固有の歴史的資源についてその素晴らしさを市内外に十分発信できていないことや、これらを巡る周遊ルートや案内表示などのインフラ整備が不十分で、「おもてなしの準備」が不足している。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>○百舌鳥古墳群に関する情報発信 百舌鳥古墳群の価値や魅力について、堺市HPやパンフレット・ポスターのほか、プロモーションムービーの上映、シンポジウムや講演会等の開催を通じて情報発信を行った。</p> <p>○百舌鳥古墳群周辺案内板の整備 来訪者の利用が見込まれる鉄道駅や周遊ルートで市内外からの来訪者に分かりやすい周遊案内板の整備に向け、整備方針の検討を行った。</p> <p>○百舌鳥古墳群ガイダンス施設の整備 (仮称)百舌鳥古墳群ガイダンス施設建設工事基本設計を完了し、実施設計等に着手した。また、堺市博物館内の百舌鳥古墳群ガイダンスコーナーで高精細な映像による来訪者向けガイダンスを開始した。</p> <p>○環濠都市区域内における案内板の改善 既存の施設案内板は、見やすさや分かりやすさなどに配慮した案内板とするため、表示内容の見直しや多言語化など改修・修繕を実施した。</p> <p>○自転車通行環境の整備 市内外からの来訪者について歩行者・自転車利用者の安全を確保するため、自転車利用促進や回遊性向上に資する自転車道や自転車レーンを整備した。</p> <p>○文化観光拠点整備事業、コミュニティサイクルポート整備事業 千利休や与謝野晶子をテーマとした展示室、観光案内施設、茶の湯体験施設などを備えた文化観光施設である「さかい利晶の杜」を整備し、多くの来館者を迎える中、大人だけではなく若年層の来訪者も増加している。 【学校団体数 H27年度:63件 3,586人 H28年度:111件 5,548人 【立礼呈茶中学生以下体験数】H27年度:1,854人 H28年度:2,595人 また当施設内にコミュニティサイクルポートの整備が行われ供用が開始された。</p> <p>○史跡・重要文化財等公開事業 毎年春季、秋季に寺社や歴史的建造物等、非公開の史跡や重要文化財の公開を実施し、広く市民に対して文化財の普及啓発を行った。</p> <p>○学校教育の場での茶の湯体験 堺の子どもたちが伝統文化を知り茶道において大切にされる「もてなしの心」等を学ぶ場として、小中学校において「茶の湯」体験を実施した。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>○様々な媒体や機会を通じて情報発信を行い、堺市民だけでなく多くの方々に堺固有の歴史文化である百舌鳥古墳群を知ってもらうことができた。特に暫定施設として整備した百舌鳥古墳群シアターでは、高精細のCG(コンピュータ・グラフィックス)を使ったVR(バーチャルリアリティ)により、迫力ある映像で世界最大級の墳墓・仁徳天皇陵古墳をはじめとする百舌鳥古墳群の雄大さを体感できるようになり、その魅力や価値をも体感できると評価を得ている。</p> <p>○環濠都市区域においては、文化観光拠点「さかい利晶の杜」が整備され、市内外を問わず多くの人々が堺の歴史文化である茶の湯を学び、体験できるようになった。市内の小中学校からの利用も増え、次代を担う子どもたちにとっても理解や関心を深める、ひとつのきっかけとなっている。</p> <p>○コミュニティサイクルポートの整備や自転車通行環境整備を進めたことにより、市内外からの来訪者が気軽に回遊できるようになっているほか、春・秋の文化財特別公開を継続的に実施することにより、堺の歴史文化に関心を持つ取り組みを進めている。</p>

<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない (要改善事項) </p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針) </p>

評価対象年度 平成25年度～ 28年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み①:まちなみ再生事業

(取り組み概要)

景観計画で重点的に景観形成を図る地域として位置付けている堺環濠都市地域のうち、歴史的建造物が多く残る堺環濠都市北部地区において、堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会と連携・協働のもと、歴史的なまちなみの再生に向けて以下の取組みを実施した。

- まちなみの再生に向けた住民の意識醸成
- まちなみ修景補助制度の活用による町家の修景促進

(取り組み経過)

	歴史的なまちなみ再生に向けたこれまでの取組み(公民協働の取組み)	
	市主体	まちなみ再生協議会主体
平成25年度	・第2～4回歴史的なまちなみ勉強会開催 (第1回は平成24年度に開催)	・協議会に向けた準備会活動開始
平成26年度	・第5回歴史的なまちなみ勉強会開催	・堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会設立 (第1回総会) ・協議会ニュースvol.1～4発行 ・まちなみガイドライン作成分科会開催(3回) ・ワークショップ開催(3回) ・町家・まちなみ写真展実施 ・町なみ意向調査(アンケート)実施 ・第2回総会開催 ・まちなみガイドライン作成
平成27年度	・修景補助制度創設・活用開始 ・費用対効果等に関するアンケート実施 ・修景補助第1号物件修景工事完了	・第3回総会開催 ・協議会ニュースvol.5～8発行 ・まち歩きマップ作成ワークショップ開催(3回) ・町家・まちなみ写真展実施 ・第4回総会開催 ・まち歩きマップ発行
平成28年度	・修景補助第2～5号物件修景工事完了 ・ピュースポット発見まち歩き開催 ・myピュースポット写真展in堺環濠都市開催	・広報スペースとして「堺町家案内所」を開設 ・第5回総会開催 ・協議会ニュースvol.9～12発行 ・町なみ再生連続講座開催(3回) ・町家・町なみを知る展示開催 ・第1～3回「昔・町なみ 歩こう」イベント開催(3回) ・研修見学会開催(小浜市)

■ 初動(町なみ再生協議会の設立:平成25年度～平成26年度)

- 歴史的なまちなみの再生について地域住民とともに考えるため、平成25年3月より平成26年5月までに「歴史的なまちなみ勉強会」を継続的に開催した(計5回)。
- 地域住民が中心となった「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」が設立された(平成26年5月)。



歴史的なまちなみ勉強会の様子

■ 計画検討(ルールづくり)

- 町家修景のルールづくり(ガイドライン)に向け、分科会・ワークショップを実施した(計6回)。
- 協議会ニュースの発行(vol.1～4)やまちなみ写真展の実施などを通じて、住民の意識啓発を実施した。
- 『まちなみガイドライン』を作成した。



堺環濠都市北部地区
まちなみガイドライン



分科会の様子

■ 事業推進(補助制度の創設・活用)

- 修景補助制度の創設・活用。
- 協議会ニュースの発行(vol.5～12)やワークショップ、各種イベントの開催などを通じて、継続的に住民の意識啓発を実施した。



ワークショップの様子

(取組み内容)

●まちなみの再生に向けた住民の意識醸成

3-2. 堺町家の特徴

(1) 建築様式

① つし二階町家

主に江戸から明治にかけて建てられ、半二階とも呼ばれています。二階の天井が低く、「奥家屋」(1F 奥側)があるのが特徴で、二階は主に居住層や物置として利用されてきました。

特徴：切妻造(平入り)【外側の場合には入母屋造】、
本瓦又は檜瓦葺

外壁：土壁
床：土間
柱：木
梁：木
土間：土
土間：土
土間：土

② 二階町家

主に明治以降に建てられ、二階とも呼ばれています。つし二階町家と比べて二階の天井が高く、二階が居住層として利用され、二階の天井も奥家屋ではなく、床下空間に活用している様子が窺われます。

特徴：切妻造(平入り)【外側の場合には入母屋造】、
本瓦又は檜瓦葺

外壁：土壁
床：土間
柱：木
梁：木
土間：土
土間：土
土間：土

※断面や平図に応じて、障子・襖、欄干・外装を別添

つし二階町家の例

二階町家の例

(2) 部位

① 屋根

切妻造(平入り)

切妻造(平入り)は、屋根の両端が水平で、中央に高低差がある。この高低差は、雨水の排水を促進し、屋根の耐久性を高める。また、切妻造(平入り)は、外観がシンプルで、和風建築の特徴を表現している。

② 外壁

土壁

土壁は、和風建築の代表的な外壁材で、自然素材の質感と温かみがある。また、土壁は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

③ 床

土間

土間は、和風建築の代表的な床材で、自然素材の質感と温かみがある。また、土間は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

④ 柱・梁

木

木は、和風建築の代表的な素材で、自然素材の質感と温かみがある。また、木は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑤ 障子・襖

障子・襖

障子・襖は、和風建築の代表的な内装材で、自然素材の質感と温かみがある。また、障子・襖は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑥ 欄干

欄干

欄干は、和風建築の代表的な内装材で、自然素材の質感と温かみがある。また、欄干は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑦ 土間

土間

土間は、和風建築の代表的な床材で、自然素材の質感と温かみがある。また、土間は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑧ 障子

障子は、和風建築の代表的な内装材で、自然素材の質感と温かみがある。また、障子は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑨ 襖

襖は、和風建築の代表的な内装材で、自然素材の質感と温かみがある。また、襖は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑩ 欄干

欄干は、和風建築の代表的な内装材で、自然素材の質感と温かみがある。また、欄干は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑪ 土間

土間は、和風建築の代表的な床材で、自然素材の質感と温かみがある。また、土間は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑫ 障子・襖

障子・襖は、和風建築の代表的な内装材で、自然素材の質感と温かみがある。また、障子・襖は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑬ 欄干

欄干は、和風建築の代表的な内装材で、自然素材の質感と温かみがある。また、欄干は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

⑭ 土間

土間は、和風建築の代表的な床材で、自然素材の質感と温かみがある。また、土間は、湿度を調整し、室内の環境を快適にする効果がある。

堺町家や堺環濠都市北部地区のまちなみの特徴を整理・発信(まちなみガイドライン)



町家の魅力を紹介する
ほか、勉強会・ワーク
ショップ、各種イベントの
開催、修景補助制度の
案内などを定期的に発信
(協議会ニュース)



地域の魅力を紹介
(昔・町なみ歩こうマップ)



地域の魅力発見(まち歩きイベント)



魅力紹介(写真展)



総会の実施



講演会

●まちなみ修景補助制度の活用による町家の修景促進
 助成件数:(平成27年度)1件、(平成28年度)4件 計5件
 <事例>



- ・看板除却
- ・屋根・庇補修
- ・虫小窓復元
- ・漆喰塗り
- など



- ・焼杉板塗り替え
- ・漆喰風塗装
- ・室外機目隠し格子設置
- ・玄関引戸取替え
- など



- ・焼杉板張り
- ・紅殻塗装
- ・格子戸・面格子設置
- など

(自己評価)

平成25年度より勉強会やワークショップ等を重ね、地域住民による『堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会』が設立。以降、協議会と連携・協力しながら、町家やまちなみの特徴を整理し、今後のまちなみ再生に向けたルールとなる『まちなみガイドライン』の作成、さらには、『協議会ニュース』などを通じて、着実に地域住民への理解が深まり、多くの方々に周知を図ることができた。このことから、まちなみ再生の取組みに関心を持ち、『まち歩き』や『講演会』などに継続的に参加する住民も増えつつある。

また、『まちなみ修景補助制度』の創設・活用により、看板建築が本来の町家の姿を取り戻すなど、目に見える形で町家が再生したことにより、地域住民の意識が醸成され、問い合わせも増えている。

これらの取組みにより、町家などの歴史的建造物の保全が図られるとともに、神輿渡御祭の折に大行列が通る紀州街道の沿道などを中心とした景観形成に向け、着実に事業を推進している。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):大阪大学大学院 助教 松本邦彦

・外部評価実施日:平成29年3月28日

・有識者コメント

毎年度修景事業が実施され、総実施件数が着実に増加しており、単体の建造物保存にとどまらず、重点区域の歴史的環境の面的保全にも寄与するものとなっていることが評価できる。

さらに実施にあたっては地域にお住まいの方や所有者の方との丁寧な協議、勉強会などを実施していることも評価できる。今後は修景および面的な景観形成の実績、また歴史的風致の観点からは、これらの歴史的建造物と人々との活動の関係を地域内外への発信することも期待したい。

(今後の対応方針)

今後も町なみ再生協議会と連携・協力し、面的な景観形成も意識しながら、地域の方々への啓発を継続的に実施するとともに、町家修景の促進を図る。さらに、これらの取組みについて、地域内外の理解が深まるよう、情報発信に努める。

評価対象年度 平成25 年度～ 28 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み②:文化観光拠点整備事業

【文化観光拠点整備事業】

(取り組み概要)

旧市街地の中心に位置する旧市立堺病院跡地において、堺の特色ある文化を振興するため、千利休などをテーマとする文化施設、及び堺観光の玄関口としての観光案内施設等を整備した。また、千利休展示室の整備に併せて、千利休が大成した茶の湯を実際に体験できる茶席空間を整備し、茶の湯に気軽に、また、本格的に触れることができる“おもてなし”の場を創出した。



さかい利晶の杜(鳥瞰)



さかい利晶の杜(外観)

●茶の湯に関する展示等整備内容

- ・「利休と堺」・「茶の湯」・「利休の生涯」の3コーナーに分けて、堺で生まれた千利休(1522年～1591年)と茶の湯を知ることができる展示室を設置。日本のベニスと称された室町から江戸時代初期にかけての堺のまちを描いた「住吉祭礼図屏風」を大型タッチパネルによりデジタル化した「デジタル住吉祭礼図屏風」では、天下一の茶人・千利休を生んだ堺のまちの国際都市としての繁栄を紹介している。
- ・利休が若き日を過ごした堺今市屋敷に武野紹鷗の茶室を写し建てたという茶室と、利休晩年期である京の聚楽屋敷の茶室を想定して「床(床の間)」を中心に再現。その設えの違いや、利休の獨創性による茶の湯の変革、利休がわび茶を大成する前後の茶の湯の変遷を知ることができる。
- ・千利休屋敷跡に面した茶の湯体験施設では、立礼茶席(南海庵)や本格的な茶室(西江軒、風露軒、得知軒、無一庵)が備わり、茶の湯の世界を気軽に楽しめるほか、立礼茶席では、表千家・裏千家・武者小路千家のお点前により、椅子席でお抹茶と堺の和菓子(生菓子)を味わえる。
- ・特に茶室では、茶道三千家の指導のもと、にじり・正座・床の観賞・お菓子やお茶のいただき方などの茶の湯の作法を体験するだけでなく、実際にお客様自身がお茶を点てることもできる体験施設となっている。
- ・このほか、“千利休作の茶室で唯一現存する国宝「待庵」の創建当初の姿を復元した「さかい待庵」”文献から得られた研究成果に基づいて、現代の職人たちが堺の地に蘇らせた「さかい待庵」の内部を、茶室内に入って空間を体感できる。



茶室(体験施設)



茶の湯体験学習



デジタル住吉祭礼図屏風



さかい待庵(体験施設)

(事業経過)

- ・整備事業実施、「さかい利晶の杜」施設愛称決定
- ・整備事業実施に合わせて、周辺道路の無電柱化工事や道路整備工事を実施。来訪者サービス施設を誘致。
- ・平成27年3月20日「さかい利晶の杜」供用開始

【さかい利晶の杜管理運営事業】

(取り組み概要)

- ・指定管理者制度により、平成27年3月20日に供用開始した文化観光拠点「さかい利晶の杜」の管理運営を実施。
- ・多くの来訪者に対して、堺が生んだ茶の湯の大成者「千利休」と、日本近代文学を切り拓いた歌人「与謝野晶子」の生涯や人物像などを通じて、堺の歴史文化の魅力を発信する。

(来館者数状況)

- ・平成27年5月 入館者数10万人達成
- ・平成27年7月 計画目標値であった年間入館者数20万人を達成
- ・平成28年1月 入館者数40万人達成
- ・平成29年3月末 入館者数822,493人(平成28年度入館者数331,938人)

(自己評価)

利晶の杜の整備により、本市の文化観光拠点として、市内外を問わず多くの人々が来訪し、堺市の歴史・文化資源のPRに寄与した。
また、茶の湯等といった地域固有の歴史・文化資源について、大人だけではなく若年層の来訪者も触れて、感じて共感してもらえる機会を創出し、広く波及することで更なる本市の歴史文化の魅力発信につながっている。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):大阪大学大学院 助教 松本邦彦

・外部評価実施日:平成29年3月28日

・有識者コメント

これまで「茶の湯にみる歴史的風致」に関連する歴史的資源や伝統的活動に関する情報を集約して展示する場所が無く、市内外に向けてその価値や魅力の発信が十分にできていなかったが、整備によりそれらの課題が解決されたと言える。

重点区域「環濠都市区域」の中心に位置する立地を踏まえると、区域内に点在する茶の湯以外の歴史的風致に関連する資産の紹介や、マップや冊子等によるアクセス方法やモデルルートの提示なども検討されたい。

(今後の対応方針)

利晶の杜の整備により、本市の文化観光拠点として、市内外を問わず多くの人々が来訪する場となっており、それらの人々へ、歴史的風致の紹介とともに、アクセス方法等を記すリーフレット等の作成を行うことで、さらなる本市の歴史文化の魅力発信に努める。

評価対象年度 平成25 年度～ 28 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み③: ザビエル公園再整備事業、阪堺線停留場美装化事業、紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿道の植栽帯の改善)

(取り組み概要)

●ザビエル公園再整備事業

昭和24年に開設されたザビエル公園はフランシスコ・ザビエルとゆかりのある公園であり、紀州街道の沿道に位置している。

歴史・文化を感じながら市民や来訪者が憩え、周辺のまちなみと調和した地域の拠点公園としての整備を行った。

【再整備にあたってのおもな基本方針と取り組み】

○公園内に埋もれた中世界の歴史環境を顕在化させ、周辺の歴史文化資源と一体となつて、観光振興等に資する環境づくりを実施した。

・中世の海岸線を階段護岸等により表現し、旧の海側に舟形遊具を配置

・旧紀州街道を表現するとともに、住吉祭礼図屏風のオブジェを設置

○堺環濠都市区域内の歴史文化資源を繋ぐ観光ネットワークの構築に向け、まち歩きの休憩・休息等の場となる環境整備の実施した。

・エントランス部を改修し、スポット広場を設置。また、テーブルベンチ等により休憩・休息環境を提供

○大道筋の緑化と併せ、大道筋側の花修景や公園内への花木を導入し、おもてなしの環境づくりを実施した。

・花修景や四季が感じられる環境づくり



園路(海岸線位置再現)



大型舟形遊具



紀州街道沿道



住吉祭礼図屏風オブジェ

・阪堺線停留場美化化事業

紀州街道の中心を走る阪堺線の停留場について、老朽化等に伴い、美化化を実施した。当計画で紹介している大浜潮湯のデザインを取り入れている。(上下線の停留場 2箇所)

●紀州街道沿道の景観づくり(阪堺線沿道の植栽帯の改善)

紀州街道のうち広幅員となっている大道筋区間(約2.5km)において、阪堺線軌道と車道部の間の植栽帯の改修工事を実施。

平面花壇の配置、ヒラドツツジ等の植栽により、紀州街道沿道の景観形成を図った。



停留場美化化(宿院停留場)



植栽帯の改善

(自己評価)

神輿渡御祭の舞台のひとつである紀州街道沿道に位置し、ザビエル公園の緑化の改善や、新たにデザイン性に配慮した阪堺線宿院町停留場の整備、紀州街道沿道の植栽帯の改善により沿道の景観形成が着実に図られた。

そのほか、ザビエル公園においては神輿渡御祭への関心を高めるために住吉祭礼図屏風のオブジェを設置した。さらには発掘調査で確認した中世の海岸線を園内通路で表現した。

宿院町停留場においては、歴まち計画においても紹介している大浜潮湯のデザインを取り入れるなど、それぞれの事業において工夫を凝らしながら進めてきた。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):大阪大学大学院 助教 松本邦彦

・外部評価実施日:平成29年3月28日

・有識者コメント

各事業は重点区域の特徴を現すシンボリック要素を対象とし、景観形成および歴史的風致に関する情報発信に寄与するものとして高く評価できる。さらに紀州街道は重点区域「環濠都市区域」の背骨となる重要な軸線であることから、沿道におけるこれらの一連の整備は区域全体への波及も期待できる。

(今後の対応方針)

これらの取組みにより、紀州街道沿道における市街地環境の整備も進むなか、今後はこれら施設の適切な維持管理に努めるとともに、歴史文化資源である町家歴史館山口家住宅などの既存ストックや、コミュニティサイクルの活用など、他の事業とも連携し、区域全体への波及効果を図る。

評価対象年度

平成25 年度～ 28 年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み:④百舌鳥古墳群整備事業

(取り組み概要)

百舌鳥古墳群整備事業

百舌鳥古墳群の整備基本計画及び保存管理計画を策定し、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を行う。

「百舌鳥古墳群保存管理計画」に基づき、古墳の整備及び修景、並びに適切な維持管理を進めた。

平成25年度:ニサンザイ古墳の発掘調査を行った。調査成果は講演会や冊子などで公表し、市民の意識醸成に寄与した。

平成26年度:「百舌鳥古墳群保存管理計画」を策定した。

平成27年度:収塚古墳前方部及び周濠の発掘調査を行い、その調査成果に基づき周辺の公園整備を行った。

平成28年度:寺山南山古墳の整備に向けた発掘調査を行い今後の復元整備に向けての検討に着手した。

御廟表塚古墳の公有地化を実施し、恒久的な保存活用に向けた準備に着手した。



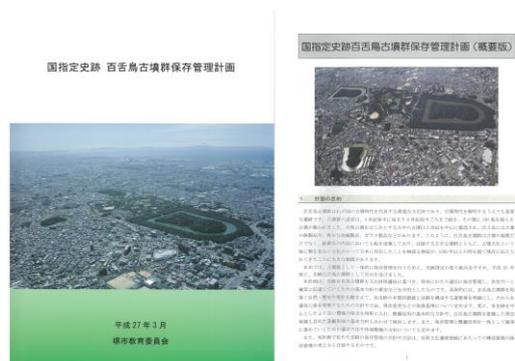
収塚古墳整備写真



寺山南山古墳発掘調査の様子



堺市百舌鳥古墳群保存整備委員会
(平成28年11月28日)



国史跡百舌鳥古墳群保存管理計画および概要版

(自己評価)

百舌鳥古墳群整備事業においては「保存管理計画」を策定した上で、古墳の発掘調査等を実施し、整備及び修景等を進めた。収塚古墳は、発掘調査により古墳の平面形を確認し、その成果に基づき前方部や周濠を明示した公園整備を実施し、古墳周辺の環境改善を図った。今後も寺山南山古墳等において、調査成果に基づいた整備を推進していく予定である。

これらの取組みにより、百舌鳥古墳群において古墳整備や周辺の修景を進め、周遊のための良好な環境を育むとともに、貴重な歴史文化資源に対する市民等の意識醸成を図るなど、百舌鳥古墳群の周遊にみる歴史的風致の維持・向上に資する取組みを進めている。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):大阪大学大学院 助教 松本邦彦

・外部評価実施日:平成29年3月28日

・有識者コメント

整備基本計画および保存管理計画を定め、古墳の保存活用については歴史的風致の維持向上につながる体制を構築していること、また着実に発掘調査や整備を進めていることは評価できる。情報発信の点でも各種取り組みが実施され評価されるものではあるが、古墳そのものの価値だけでなく、歴史的風致の観点から古墳群の周遊などの人々の活動との関わりを発信することも今後検討されたい。

(今後の対応方針)

百舌鳥古墳群の調査研究を継続し、それらの成果を踏まえた修景や復元等の整備を行う。併せて古墳に馴染みが少ない方でも古墳群の魅力や価値を体感できような周遊方法等を検討していく。

評価対象年度	進捗評価 平成28年度 総括評価 平成25年度～平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 堺市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 平成29年3月28日午前10時30分から12時00分まで	
<p>(コメントの概要)</p> <p>○本計画を進めていく上で、観光への波及効果なども視野に進める面はあると思うが、歴史文化資源と、それを支える人々の活動を将来へ継承するという本質を見失わないようにすることが重要である。</p> <p>○良好な景観形成にあたり、屋外広告物の適正化は建築物の更新に比べて非常に即効性がある。そのため、既存不適格広告物の分布状況を把握し、適正化件数の年間目標を設定するなど、戦略的に展開していく必要がある。</p> <p>○歴史的なまちなみの再生に向けては、修景する町家が本来どういう形式のものかなどを確認して修景を進めるべきである。</p> <p>○住民がそのまま町家を継承する時代ではなくなっている。将来どう受け継いでどう活用していくか、住宅としてだけでなく、別の活用方法を模索していけるよう、さらに踏み込んだ取り組みが必要である。</p> <p>○町家の修景について、事業後の写真はいくらでも撮れるが、事業前の写真は2度と取れない。事業を評価するためにも事業前の写真はきちんと撮っておく必要がある。</p> <p>○埋蔵文化財では発掘調査時がいちばん迫力・説得力がある。いかに調査時に公表するかが重要であり、かつ発掘現場をそのまま常時見られるような展示をしてはどうだろうか。</p> <p>○文化財は偽物より学術的本物性が一番魅力をもっている。その辺りの展開論を考えていただきたい。</p> <p>○現場ではバーコード等を読み込むとホームページで発掘時のプロセスの画像が見られるようにすると説得力がある。バーチャル・リアリティと画像を活用して見せることも必要だ。</p> <p>○自転車道のデザインが歴史に全然配慮されていない。周辺の市街地特性に合わせて落ち着いたデザインにするとか、さらには自転車道のサインも合わせて検討するべきである。</p> <p>○3年間の総括、取り組みがワンストップで見れるものが必要である。それと同時に、行政内でそれらの取り組みが周知され連携していくことが重要である。市民への啓発活動に合わせて職員向け研修も行ったほうがよい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○協議会での意見を踏まえて、歴史文化資源とそれを支える人々の活動を将来へ継承するという当計画の趣旨に即して、今後も計画を推進していく。</p> <p>○本市の歴史的風致やこれまでの取り組みについて、庁内外問わず、分かりやすく発信していく。</p> <p>○歴史文化資源の保存については、学術的な調査研究等を十分に踏まえた上で、今後とも公開活用を進める。</p>	